

## 目 次

SPKの企業文化	1
オーナーのみなさまへ	2
営業の報告	3
経営方針と見通し	4
中間連結貸借対照表	5
中間連結損益計算書／中間連結剰余金計算書	7
中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
中間単体貸借対照表	9
中間単体損益計算書	11
主要経営指標の推移	12
株式の状況／大株主	15
株価の推移／IR活動レポート	16
役員／当社グループの主要な事業所	17
会社概要／沿革／株主メモ	18

## ■ オーナーのみなさまへ

SPKオーナーのみなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第135期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の営業のご報告にあたり、日頃のご理解・ご支援に対し心から感謝申し上げます。

さて、当中間期の連結決算業績は、前年同期比で申し上げますと、売上高は6.9%の増収、営業利益は15.3%増、経常利益は12.2%増、中間純利益は8.6%の増益となりました。

オーナーのみなさまへの配当につきましては、配当重視の方針にもとづき、中間配当は1円増配の18円とさせていただきます。

下期も国内外厳しい環境が続きますが、仕事の質を高め、マーケットを深く耕すという地道な営業活動を根気よく積み重ねて「持続する収益力」を強化してまいります。

なにとぞ、今後とも一層のご理解とご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

代表取締役会長 中嶋 功  
代表取締役兼社長執行役員 小高伸介



会長 中嶋 功



社長 小高伸介

## ■ SPKの企業文化

## ＜経営方針＞

可能性を追求する  
責任を遂行する  
真の中堅企業へ

## ■ 営業の報告

### 当中間期の概況

当中間期（連結）の売上高は、国内営業が伸び悩みましたが、海外営業と工機営業が好調に推移し、対前年同期比6.9%の増収となりました。利益面でも、海外営業と工機営業の増販効果と利益率改善もあり、営業利益は15.3%の増収となりました。

国内営業は、部品の長寿命化による部品交換頻度の減少や規制緩和による車検の簡素化等により、整備需要の減少傾向が続いております。また、市場での価格競争は一段と激化し、出筋商品の単価が下落しております。その結果、売上高は前年同期並みとなりました。

海外営業は、円安傾向という追い風もあり、アジア・中近東・中南米・欧米とほぼ全地域で売上が伸びました。その結果、16.8%の増収となりました。

工機営業は、納入主要業界である建機・産機・農機の増産により、好調に推移しました。その結果、16.9%の増収となりました。

### 当社グループ経営データ

#### ①当社グループの業績

(単位：百万円、%)

	当中間期	前中間期	対前中間期比
売上高	15,954	14,922	106.9
営業利益	744	645	115.3
経常利益	787	701	112.2
中間純利益	449	414	108.6

#### ②当社グループの売上高データ

(単位：百万円、%)

	当中間期	前中間期	対前中間期比
国内営業	8,777	8,779	100.0
海外営業	5,445	4,662	116.8
工機営業	1,730	1,480	116.9
連結売上高	15,954	14,922	106.9

## ■ 経営方針と見通し

社会的貢献を持続するために、「豊かに継続すること」これがSPKの経営目的です。

<経営の基本方針>

- ① 企業の変革と経営の先進性を追求します。
- ② 全社員に成長するチャンスとステージを提供します。
- ③ 「持続する収益力」の維持・強化をめざします。
- ④ お取引先の満足と社会への貢献を追求します。
- ⑤ 株主、利益配分および情報開示を重視します。

収益体質が強化されつつありますので、通期も増益が維持できると見込んでおります。上期の1円増配に続いて、下期も1円増配し、通期で2円増配の36円配当をし、8期連続の増配を実現していきたいと考えております。

(ストックオプションの割当て)

—「高いモチベーション」を維持しております。—

2000年にスタートした第1回目のストックオプションが成功裡に終了し、業績向上への高いモチベーション効果をもたらしました。今期、引き続き第2回目のストックオプションをスタートさせました。145名の役員・社員に170,100株分を行使価額1,803円で割当てました。中期計画必達への起爆剤となるものと考えております。

### 通期の業績見通し

国内営業は引き続き厳しい事業環境にありますが、自動車アフターマーケットをこれからも事業領域として、深掘してまいります。海外営業はアジアを中心に機能パーツのシェア拡大を図ります。工機営業は引き続き好調に推移すると考えております。

当期連結業績の見通しは、期首の発表通り売上高314億円、経常利益15億300万円を達成してまいります。

<当社グループの業績見通し>

(単位：百万円、%)

	通期見通し	前期実績	対前期比
売上高	31,400	30,453	103.1
営業利益	1,430	1,334	107.1
経常利益	1,530	1,433	106.7
当期純利益	900	872	103.2

## ■ 中間連結貸借対照表

中間連結貸借対照表

科 目	当中間期	前 期
	平成17年9月30日現在	平成17年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>11,509</b>	<b>11,029</b>
現金及び預金	2,417	2,246
受取手形及び売掛金	6,535	6,531
たな卸資産	2,233	1,899
繰延税金資産	158	152
その他	174	212
貸倒引当金	△ 11	△ 14
<b>固定資産</b>	<b>1,787</b>	<b>1,793</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>747</b>	<b>740</b>
建物及び構築物	109	101
土地	619	619
その他	18	20
<b>無形固定資産</b>	<b>268</b>	<b>302</b>
ソフトウェア	217	241
連結調整勘定	40	48
その他	11	12
<b>投資その他の資産</b>	<b>771</b>	<b>749</b>
投資有価証券	312	274
繰延税金資産	240	267
その他	225	235
貸倒引当金	△ 6	△ 27
<b>資産合計</b>	<b>13,297</b>	<b>12,822</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期
	平成17年9月30日現在	平成17年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,072</b>	<b>3,890</b>
支払手形及び買掛金	3,037	3,036
未払法人税等	334	295
その他	700	559
<b>固定負債</b>	<b>653</b>	<b>822</b>
退職給付引当金	485	515
役員退職慰労引当金	—	266
預り保証金	42	40
長期未払金	125	—
<b>負債合計</b>	<b>4,726</b>	<b>4,713</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>898</b>	<b>844</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>961</b>	<b>907</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>6,617</b>	<b>6,286</b>
<b>株式等評価差額金</b>	<b>94</b>	<b>71</b>
自己株式	△ 0	△ 0
<b>資本合計</b>	<b>8,570</b>	<b>8,109</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>13,297</b>	<b>12,822</b>

中間連結貸借対照表